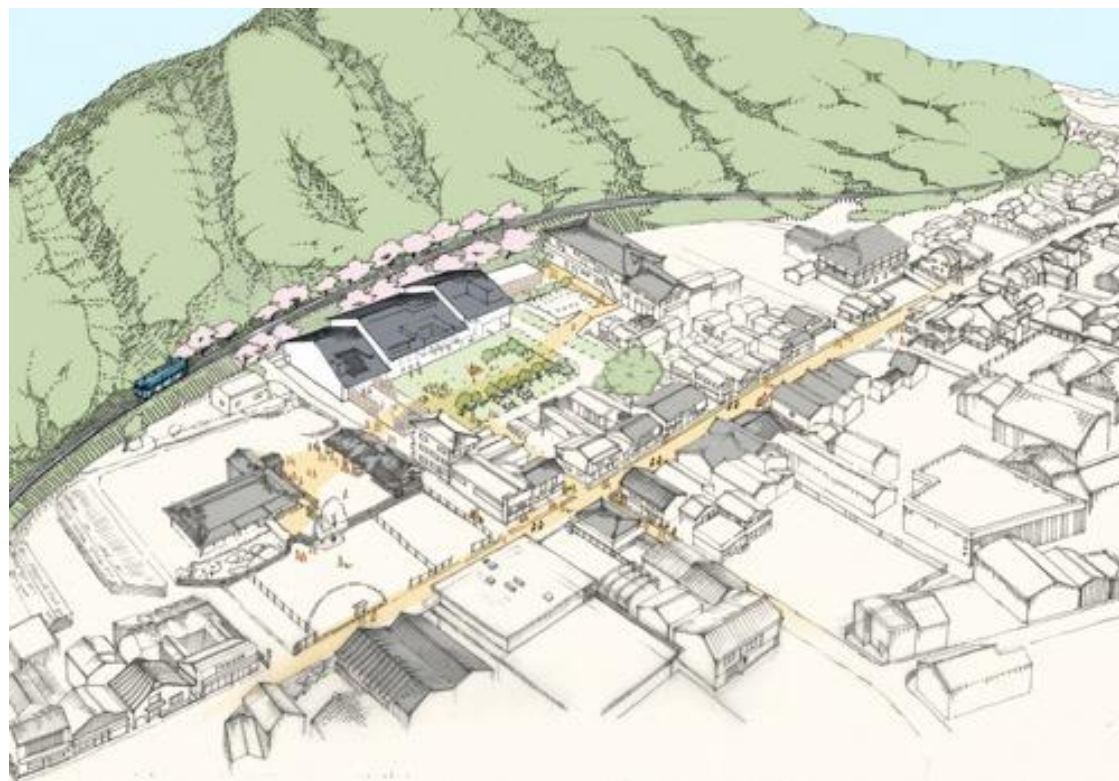


四万十町文化の施設整備事業



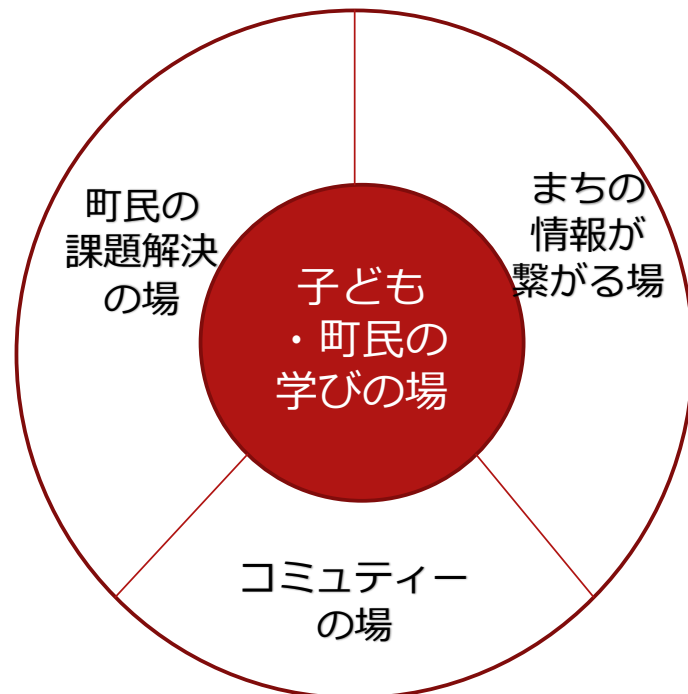
令和2年10月20日

目 次

- 1 . 文化的施設の整備に向けて 1
- 2 . ” 4
- 3 . 文化的施設と中心市街地の活性化 7
- 4 . 文化的施設と都市経営 9

『子ども達の未来に投資する』 という選択！

四万十町では【子ども達の未来のために】
新しい文化的施設を建設するという投資を行います。
この投資が子ども達の学びを促し、町が賑わい・町民
みんなが笑顔で活力ある「よりよい未来」を創造します。



町では「出産・子育て施策によるまちづくりの好循環化」を目指し、

・『子ども達を核としたまちづくり』

・『学ぶ町民と人づくり』

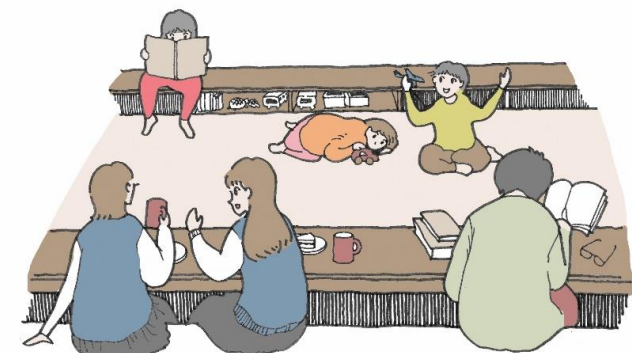
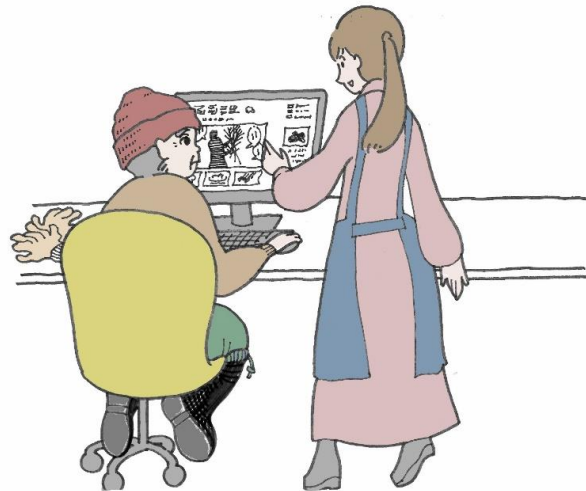
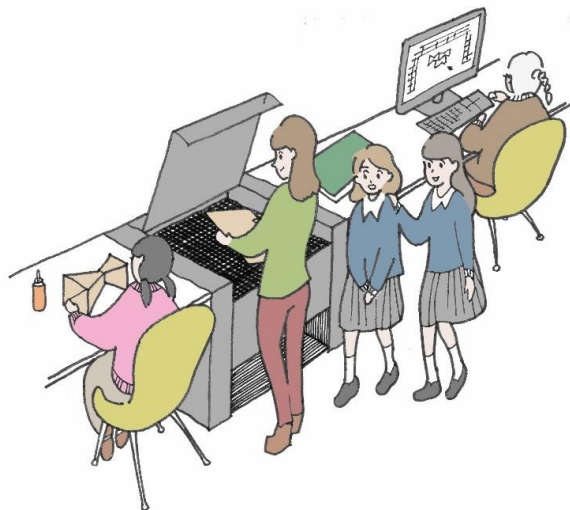
をコンセプトに新しい文化的施設の整備を行います。

この【子ども達の未来への投資】が子ども達だけでなく、現役世代の大人や高齢者の方と「いろいろな情報」という言葉をキーワードに繋がっていくことにより「みんながよりよく生き」、「まちが賑わう」という好循環化へ転換していきます。

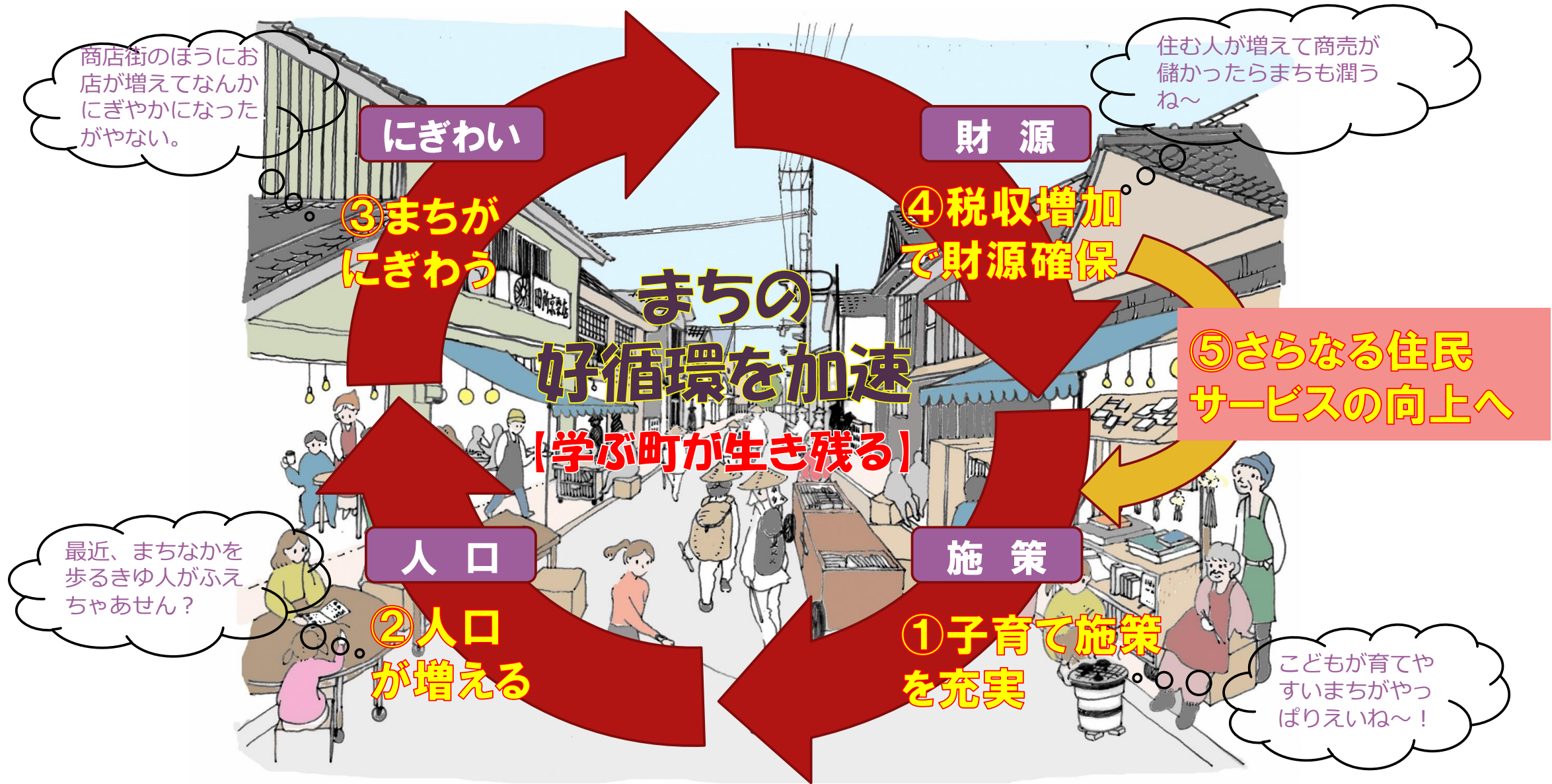
町民の課題の数だけ新しい 文化的施設的需求がある (読書好きの人だけの施設ではありません)

【こんな施設】

- ①町民の皆さんが日々の生活の中で抱えている仕事や健康、子育てなどの色々な悩みや課題の解決に「調べたり」「だれかに繋げたり」して解決に向けて応援していきます。
- ②色々なコミュニティとの繋がりを作り「新しい生き方」の手助けとなる活動を行っていきます。
- ③これからの子ども達に次世代を生き抜く力として「想像／創造体験」、「最新の情報と技術の体験」などを通して「課題を発見し解決していく力」を育てる施設を目指します。



新しい文化的施設の整備が まちの好循環を加速する



四万十町文化的施設基本計画

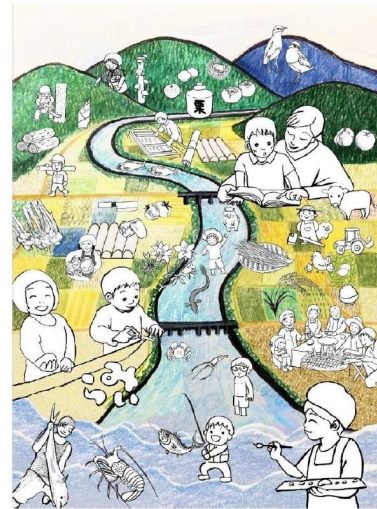
2020年2月

概要版

新しい文化的施設のビジョン

「まちの文化が流れ、人にひらかれ、人が集まる四万十駄場」

これまでの文化を守りながら、これからの文化を生み出す場として、「駄場」のようにまちと人にひらかれた拠点となることを目指します。



予定地

旧役場庁舎跡地

周辺に利用余地のある老朽建築物や空き地が多く、文化的施設を核とした周辺環境の発展性が高い

1. 文化的施設の5つの役割

「あれか、これか」ではなく
「あれも、これも」を貪欲に実現

人とまちをつなぐ、
コミュニティの場

子どもたちが自分の
居場所を見つけられる場

最新の情報と技術を
活用した多様な
文化・芸術体験の場

想像／創造体験を通した
自己表現の場

STEAM教育に基づく
試行錯誤の場

STEAM教育とは Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Art (芸術)、Mathematics (数学)の頭文字をとった言葉であり、児童生徒が数学・科学・芸術などの基礎を身につけたうえで、技術や工学などを応用して、問題解決を図るための必要な能力を総合的に学習することです。

2. コンセプト

ビジョンにつながるコンセプト(ミッション)

「人・自然・文化～やわらかい社会をつくる～」

コンセプト実現のためのアクションプラン

- 図書館、美術館、展示、コミュニティを核とする文化機能の融合
- 広域なまち全体にひらかれ、各地域をつなぐ
- 施設をともに支えるサポーター団体の設立と運営
- 実空間と情報空間をつなぐ情報システムの導入

3. サービス目標

1. で示す5つの役割を果たすことを前提に、核となるサービス目標、また以下のような目標を組み上げ、役割の主たる対象者に対して、利用経験者と利用未経験者の双方に評価を行う。

● 施設間連携によるサービス目標

- ① 文化施設間の連携
- ② 幼保施設との連携
- ③ 小中高との連携
- ④ 福祉施設、病院との連携
- ⑤ 団体、企業、店舗等との連携
- ⑥ 観光施設、宿泊施設、道の駅との連携

● アウトリーチによるサービス目標

「アウトリーチによるサービス目標」新しい文化的施設が、これまで図書館・美術館などのサービスが及ばなかった方々に対してこれらのサービスを受けることができるように能動的に働きかけ・広げていく活動目標です。

4. 管理運営

文化的施設の望ましい管理運営方針

- 開館・閉館時間を共通化
- 図書(館)資料、美術(館)資料、歴史資料・文書資料を区分しない、一体的な資料の扱い
- 図書館と美術館全体を統括する施設長(仮称)を設置
- 文化的施設の自立的、持続的な運営のため、日常的に資金調達(ファンドレイジング)を実施

◆ 職員(司書、学芸員/キュレーター、一般職員)への要求水準とその保障

施設長

図書館、美術館の両方をバランスよく見渡し、文化的施設を精力的に牽引する役割+自然環境に対する関心や参画

司書

学芸員/キュレーター

図書館、美術館一体で文化的施設の運営に積極的に参画し、施設長を補助する役割

一般職員

司書や学芸員をつなぎ、専門職の専門性が融合的に発揮されることを支援し、施設長を補佐する役割

◆ 町民との協働による管理運営

町民の自主的かつ主体的な「わたくしたちごと」意識を感謝と敬意をもって真摯に受けとめ、形式ではない協働を実現。

5. 建設計画・スケジュール

計画と設計の
一体的進行

まちとのつながりを
意識した設計

- ・2019年度：基本計画の策定、設計者選定プロポーザルの実施
- ・2020年度：基本・実施設計の策定、サービス計画の策定着手
- ・2021年度：工事着手、サービス計画の策定完了、移転準備
- ・2022年度：竣工・開館

文化的施設

図書館

美術館

展示

コミュニティ

比較項目	旧庁舎跡地	窪川駅前
回遊性	窪川駅～遍路道～岩本寺の約6万8000平米の回遊性を実現	窪川駅周辺で約2万7000平米の回遊性を実現
確実性	公共事業として安定	現段階では事業性が不明
経済性	町有地につき原則的に追加負担なし	私有地につき賃料支払いが継続的に発生
拡張性	岩本寺、美馬旅館、古民家カフェ半平等との連動性が高く、周辺にリノベーション余地のある物件多数	窪川駅、信金支店、町庁舎等、利用用途が明確に規定されている施設が周辺に多く、拡張性に乏しい
利便性	窪川駅を起点とした場合、若干の距離が発生。駐車場確保は問題なし	窪川駅を起点とした場合、利便性が高い。ただし、駐車場確保には課題あり、かつ交通渋滞の要因となりうる
将来性	町財政が健全な限り問題なし	事業者が破綻した場合、町が施設買取をせざるを得ない可能性あり

1. 中心市街地とは…

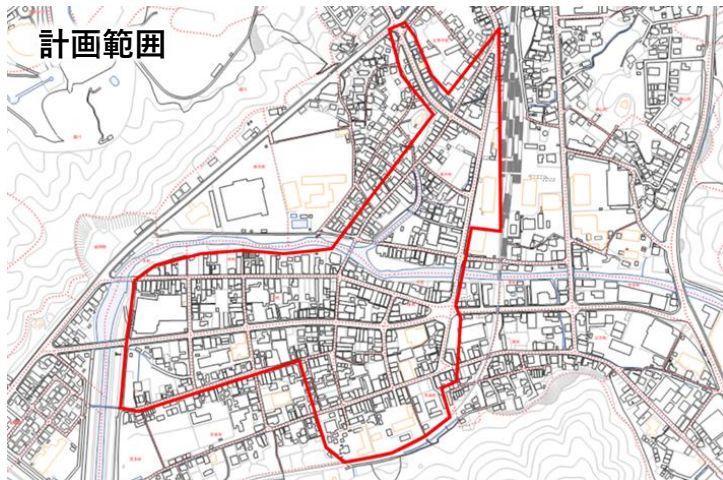
第2次四万十町総合振興計画

四万十町市街地再生基本構想

総合振興計画を補完し、窪川、大正、十和の市街地再生に向けての整備方針を位置づけ（ゾーニング）

四万十町窪川地域中心市街地活性化計画

基本構想を受け、窪川地域中心市街地の目指す姿を示すものとして、具体的な取り組みを位置づけ



昭和に商店街として栄えた本町通商店街、吉見町商店街に加えて、お遍路効果を期待できる岩本寺から古民家カフェ半平までの通りを中心とした範囲を設定。

四万十町窪川中心市街地活性化協議会

事業の提案

事業の承認

協議会ワーキンググループ

事業の実施

目標

窪川中心市街地の活性化に向けた商店街の「にぎわいづくり」

令和2年度の事業内容

しまんと街おこし応援団

- 古書街道
(あっと本町：にぎわい拠点、古書街道1号店)
- まち遊び
- 自由なアトリエ
- くぼかわ街あかりプロジェクト
- くぼかわ案内MAP
- くぼかわ発の体験型観光事業 等

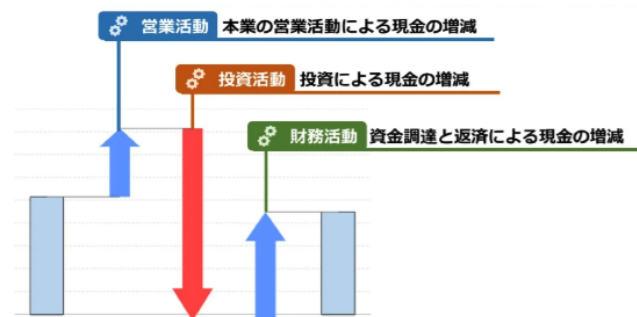
四万十町商工会

- チャレンジショップ事業

2. 窪川地域中心市街地の活性化に向けた取組



商店街と周辺施設（文化的施設等）で行う取組みの**相乗効果**で中心市街地の活性化を推進



企業の活動

(キャッシュ・フロー)

都市経営 の活動

減

a. **営業活動**・・・本業の営業活動
市民サービスと税収

b. **投資活動**・・・固定資産や株式への投資
まちづくりと人材育成

減

c. **財務活動**・・・資金調達や借入金の返済
町債（地方債）と積立基金

選ばれるまちへ

暮らしの
質の向上

**地域の魅力
利便性が向上**

自分のまちに
責任をもつ町民

**多様化するニーズに
公民連携で対応**

小さなまちだからこそ
できる公共サービス

人口減少

土地の収益力が
激減

路線価の下落
固定資産税の激減

**地域の魅力
利便性が低下**

**公共サービスの低下
コミュニティの弱体化**

**都市経営の
負のスパイラル**

まちへの期待、興味
が激減

1



かつて図書館は、まちのなかでも
静かで落ち着いた場所によくつくられました。
そこは本を借りたり、静かに読んだりする場所でした。

2



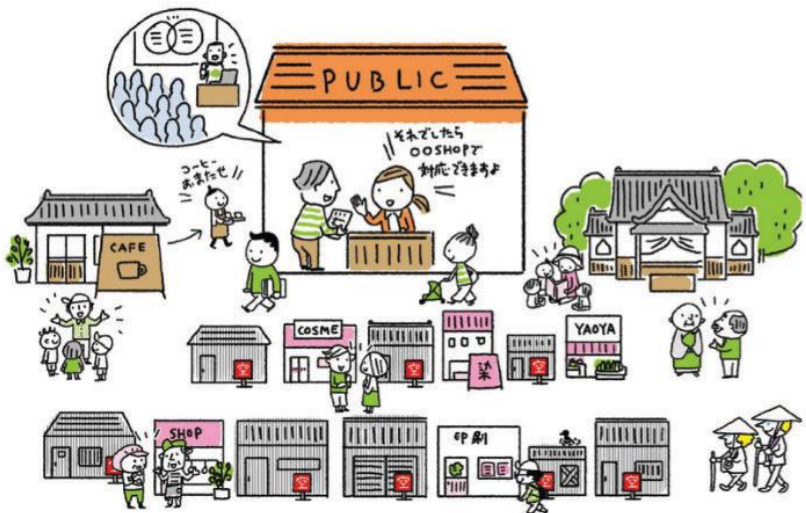
時代は変わって、図書館はまちの人たちの
さまざまな質問や要望に応じてあげる場所
になっていきました。

3



そこで、図書館は古くからの文化や商いが残り、
そして少し空き家もあるまちの一角に引っ越すことにしました。
思い切って名前も変えることにしました。

4



じぶんの施設でできないことは、
まわりのお店や施設にどんどん手伝ってもらいました。
すると建物だけでなく、近所にも活気が生まれていきました。

5



しばらくすると、近くの空き家を借りて
新しい商売を始めたいという人がつぎつぎと
現れました。

6



辺り一帯は人通りが増え、お店の売り上げも上がりました。
空き家も減って家賃が上がり、大家さんは喜びました。
固定資産税の税収も増えて役場の人もニンマリです。